



ちょうかんず たいら  
鳥瞰図と地図にみる「平市」

—平市誕生 80 周年・いわき市誕生前夜譚—

■会期 平成29年12月15日(金)–平成30年5月27日(日)

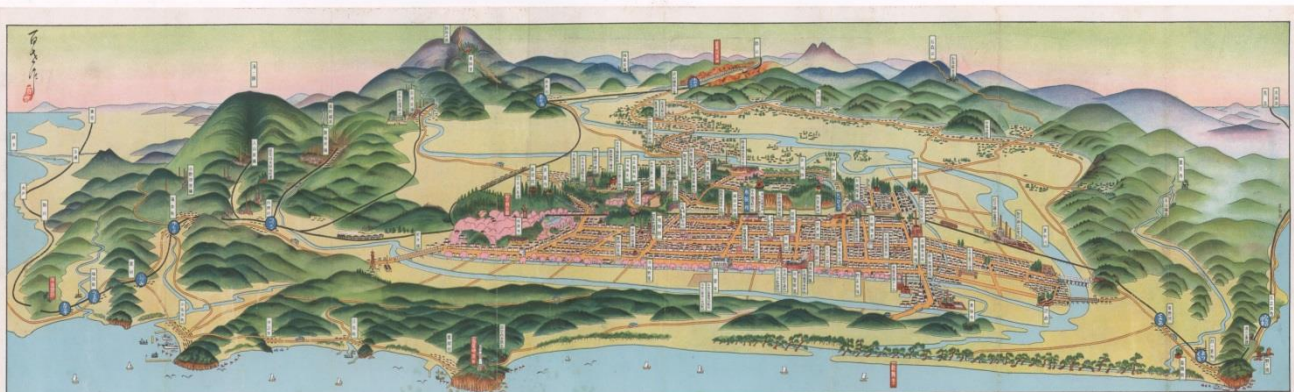
■会場 いわき総合図書館5階 地域資料展示コーナー

## はじめに

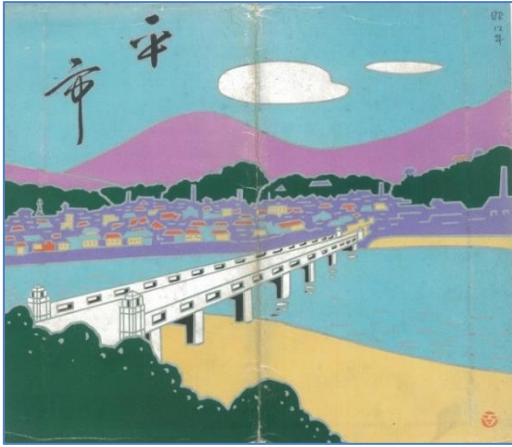
平市は今から80年前の昭和12(1937)年に誕生し、いわき市に合併される昭和41(1966)年までの30年間続きました。当時の鳥瞰図や地図を見ると、見慣れた場所に今とは違う建物が描かれています。色鮮やかな鳥瞰図、地図や写真を通して、80年前の平市から現在のいわき市平の街へと変わりゆく姿をご覧ください。

## 平市誕生

昭和12(1937)年6月1日、平町と平窪村<sup>ひらくぼ</sup>が合併し、いわき地方で最初の市として平市(全国では144番目)が誕生しました。平は江戸時代に磐城平藩の城下町として栄え、明治16(1883)年に北目<sup>きため</sup>、町分<sup>まちわけ</sup>、長橋<sup>ながはし</sup>、十五町目<sup>じゅうごちょうめ</sup>の4か村が合併して平町となり、いわき地方の交通や商工業の拠点として発展しました。昭和に入り、市制への移行を検討、市制の条件である人口3万人に当時の人口2万7千人は足らなかったため、昭和12(1937)年に江戸時代から関わりの深い平窪村と合併、平市が誕生しました。その後、平市は昭和25(1950)年に飯野村<sup>いひの</sup>と神谷村<sup>かべや</sup>、昭和29(1954)年に豊間町<sup>とよま</sup>、高久村<sup>たかく</sup>、夏井村<sup>なつ井</sup>、草野村<sup>くさの</sup>、昭和30(1955)年に赤井村<sup>あかい</sup>の一部と合併、市域を拡大し、人口も7万人を超える市になりました。



鳥瞰図「平市と附近景勝案内」 平市役所 昭和12(1937)年 原圖製者、鈴木百世



平市（平市と附近景勝案内のカバー）

## 鳥瞰図とは

鳥の目に映る景色のように、高みから見下ろしたように描かれた図。近代地図ができる以前に多く作られた。

距離や方向、面積などの正確さに欠けるが、絵画的手法で市街・地形などがわかりやすく描かれ、立体感や遠近感がよく表され、観光案内図として用いられることが多い。

日本では大正から昭和の中頃にかけて、吉田初三郎を代表する画家により、全国各地の美しい鳥瞰図が描かれた。



## 昭和 10 年・見るポイント

この当時の平のまちには江戸時代の影響が色濃く残り、道は街道などが中心で、橋もあまり架かっていません。現在の新川緑地は、江戸時代に掘られた人工的な川でした。現在の新川はその南を流れ、古川と呼ばれていました。まちの東側に新しい道が作られ、夏井川には平神橋が架かっています。西南部の尼子橋は新川と古川の二つの川をまたぐ長い木橋として描かれています。



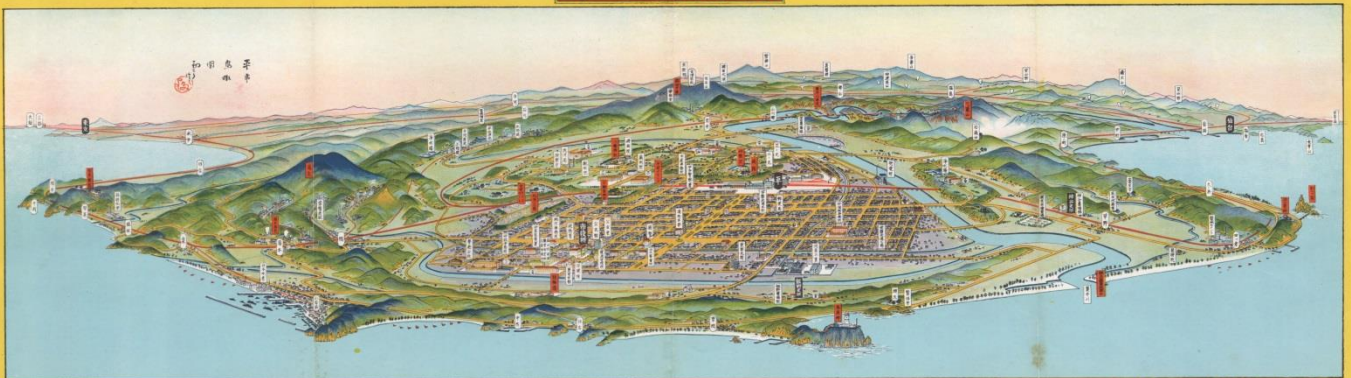
平市公会堂と新川

## 戦後の復興

昭和 20（1945）年の 3 回の空襲により、平の西南部（古鍛冶町、紺屋町、材木町、長橋町、堂の前、童子町、梅本町）と中心部（田町、三町目、南町、堂根町、大町、十五町目、三崎町）が被災。多くの住宅や学校などの公共施設が焼失、犠牲者がでました。

昭和 21（1946）年、戦災復興院は「平戦災復興土地区画整理事業」を計画、平市は戦災都市の指定（全国 115 市）を受け、駅前通りの拡張、新国道 6 号の建設、既成街路の拡幅、水路の整備や墓地の移転・公園緑地事業を行いました。国道 6 号は昭和 31（1956）年に勿来—平間が開通、さらに昭和 34（1959）年に舗装されて開通し、現在に受け継がれています。

## 平市鳥瞰図



鳥瞰図「平市鳥瞰図」 平市役所 [昭和 27（1952）年] 著作権者、吉田初三郎





平市（「平市鳥瞰図」のカバー）

## 昭和 20 年・見るポイント

昭和 25（1950）年、流水の一部切りかえで古川は新川となりました。尼子橋の上流に国道とコンクリート製の新しい尼子橋ができ、木橋は昭和 29（1954）年に短く作り替えられました。昭和 28（1953）年、駅前通りは新川橋まで舗装され、平に南北幹線道路が通りました。国道 6 号は昭和 29（1954）年、長橋町—大町が開通し、戦災にあった学校や官公庁も立て直されてきました。

## さらなる発展へ

昭和 28（1953）年に公布された「町村合併促進法」により、町村合併が全国に広がります。

平市も飯野村と神谷村、豊間町、高久村、夏井村、草野村、赤井村の一部と合併しました。

また、昭和 25（1950）年に公布された「国土総合開発法」により、地域の総合開発にも目が向けられるようになり、昭和 28（1953）年、いわき地域全体の開発を円滑に進めるため、「常磐地方総合開発期成同盟会」が発足し、後のいわき市誕生の素地となりました。

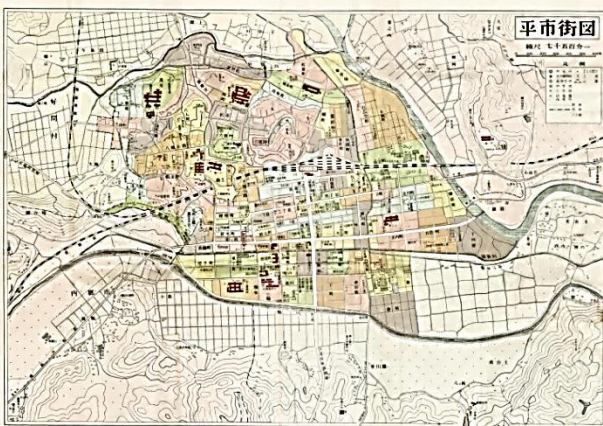
昭和 37（1962）年の「新産業都市建設促進法」を受け、昭和 39（1964）年、いわき地域は「常磐・郡山地区」として、新産業都市（全国 13 地区）の指定を受けました。



Taira（鳥瞰図 [平市観光案内図] のカバー）  
平市観光課 昭和 31（1956）年



でこ市・平駅前通りを三幸デパート屋上から見る



平市街図 マルトモ [昭和 35-37（1960-1962）年]

## 昭和 30 年・見るポイント

道路の拡幅や河川の整備が進み、新川に昭和 31（1956）年には新田橋、昭和 35（1960）年には菱川橋が架けられました。地図には駅前通りから小名浜へと続く道路が描かれていますが、この道路は昭和 39（1964）年に開通しました。地図に記載されている「小名浜新潟国道」は小名浜と新潟を結ぶ国道として戦後に計画されたものです。

# 平市30年の歩み

西暦	年号	主な出来事
1937	昭和12年	6月1日 平町と平窪村が合併して市制施行により平市 7月 日中戦争 8月10日 市長選挙で市長に青沼鋒太郎氏 11月 平神橋の完成
1938	昭和13年	3月5日 公会堂の上棟式
1939	昭和14年	10月5日 平商業学校の新築落成式
1940	昭和15年	5月14日 平工業学校の開校式
1941	昭和16年	8月9日 猪瀬乙彦氏が市長に就任 12月 太平洋戦争
1944	昭和19年	11月20日 学童動員
1945	昭和20年	3月10日 空襲による第1回被災 6月29日 市長に伊藤秀吉氏 7月26日 第2回被災 7月28日 第3回被災 8月 終戦
1946	昭和21年	4月30日 平復興都市計画街路停車場及び土地区画整理計画決定
1947	昭和22年	4月5日 市長に鈴木辰三郎氏
1949	昭和24年	6月30日 平事件
1950	昭和25年	1月13日 市庁舎の落成式 2月15日 新川の改修工事が完成、流水の一部切りかえ 4月 飯野村が平市に合併 5月25日 神谷村が平市に合併

西暦	年号	主な出来事
1951	昭和26年	2月7日 第1回競輪開催 3月29日 尼子橋竣工式 4月23日 市長に諸橋久太郎氏
1952	昭和27年	1月11日 消防署の落成式 1月31日 平公民館の落成式 4月19日 平地区警察署の新築落成式 4月28日 日本が独立
1953	昭和28年	8月14日 平安橋(平駅前跨線人道橋)竣工式、渡橋式
1954	昭和29年	10月1日 豊間町、高久村、夏井村、草野村が平市に合併
1955	昭和30年	2月11日 赤井村大字赤井地区が平市に合併 4月30日 市長に諸橋久太郎氏が当選
1956	昭和31年	4月28日 国道6号勿来一平が開通 5月24日 新田橋の完成祝賀会
1960	昭和35年	5月28日 菱川橋の渡りぞめ
1962	昭和37年	10月3日 中塩に新築の平商の起工式
1963	昭和38年	4月30日 市長に大和田弥一氏 7月13日 新産都市に指定
1964	昭和39年	1月20日 才樋小路立体橋の完成祝賀式 10月 東京オリンピック
1965	昭和40年	9月11日 市民会館の上棟式 10月2日 平高専の落成式 12月8日 大工町ガードが開通

## ◆◆◆ 参 考 文 献 ◆◆◆

- ◆ いわき市史 第4巻 近代2 いわき市史編さん委員会 編 いわき市 1994 (K/210.1-1/4)
- ◆ 絵はがきの中の「いわき」 いわき総合図書館編 いわき未来づくりセンター 2009 (K/210.6-1/4)
- ◆ 市制30年の歩み 1966年 平市 平市役所 1966 (K/318.27/夕)
- ◆ 戦災復興誌 第5巻 建設省 大空社 1991 (K-518-セ-5)
- ◆ 平市街における空襲と戦災復興都市計画 おやけ こういち [いわき地域学会] 2016 (K-210.7-1-オ)
- ◆ 未来への翼 ーいわき市制施行30周年記念誌ー いわき市 1997 (K-318.2-イ-)
- ◆ 未来へつなぐ「いわき」ものがたり ーいわき市市制施行50周年記念誌ー いわき市 2016 (K/318.2/イ)
- ◆ 吉田初三郎の鳥瞰図を読む 堀田 典裕 河出書房新社 2009 (291.0-ホ)
- ◆ 吉田初三郎のパノラマ地図 平凡社 2002 (291.0-ヨ)
- ◆ いわき市ホームページ「平地区のむかし」

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1454728223954/index.html>

◇ 地図や鳥瞰図は、いわき総合図書館のホームページ <http://library.city.iwaki.fukushima.jp/> の郷土資料のページからも見るすることができます。